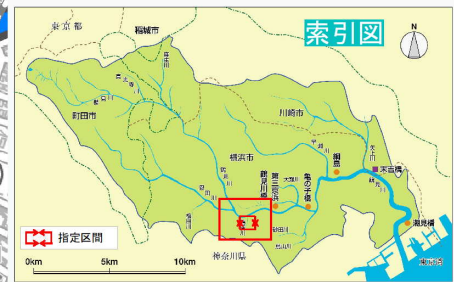


鶴見川水系鴨居川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

凡例 浸水継続時間

- 12時間
- 24時間(1日間)
- 72時間(3日間)

- ▭ 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川
- ▭ 河川等範囲
- 市町村界
- 区界



鶴見川水系鴨居川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)

- 1 説明文
 - (1) この図は、鶴見川水系鴨居川の対象区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、現時点の鴨居川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により鴨居川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、鴨居川以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

- 2 基本事項等
 - (1) 作成主体 神奈川県
 - (2) 指定年月日 令和3年10月8日
 - (3) 告示番号 令和3年神奈川県告示第608号
 - (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第3項
 - (5) 対象となる河川
 - 鶴見川水系鴨居川(実地区間)
 - 左岸：神奈川県横浜市緑区鴨居から鶴見川合流点まで
 - 右岸：神奈川県横浜市緑区鴨居から鶴見川合流点まで
 - (6) 算出の前提となる降雨 鶴見川流域の48時間総雨量792mm
 - (7) 関係市区 横浜市緑区
 - (8) その他計算条件等
 - ① この図は鶴見川水系鴨居川において、堤防のある区間においては危険となる水位に達し時点で破堤及び越水、堤防のない区間においては溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。
 - ② 氾濫解析は、対象区間を5m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基礎地図情報(数値標高モデル5mメッシュ)データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 3JHf 200」
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」